

高齢透析患者の食事管理を考える —岡山県下の透析施設へのアンケートから見えてきたもの—

榮 訓代¹⁾ 藤本 清美¹⁾ 宮崎 雅史¹⁾

¹⁾: 腎不全センター 幸町記念病院 ²⁾: 岡山腎不全食研究会

キーワード: 高齢透析患者, 栄養管理, 独居

I はじめに

高齢透析患者が増え、栄養管理をする上で、高齢者ならではの問題が増えてきた。特に、買い物ができない、食事の準備ができないというのは深刻な問題である。そこで、高齢透析患者に関わっている管理栄養士から情報を得ることで、問題解決の糸口をはかれないか検討したので報告する。

II 対象と方法

「自分で食事の用意ができるか」という点で考え、75歳以上を高齢者とし、岡山県内の39透析施設の管理栄養士にアンケートを実施。設問によっては複数回答をしてもらい、点数化し集計を行った。高齢透析患者の現状を知り、問題点を抽出、解決方法を栄養士の立場から検討した。

III 結果

75歳以上の高齢者の割合は32.6%。栄養管理や栄養相談の時に困っている事があると答えた施設は94.3%だった。

困っている内容の、当てはまる所に複数回答をしてもらい、「一番困っている」が3点、「困ることが多い」が2点、「時々困る」が1点として集計した。「摂取量が少ない」、「栄養管理ができない」という回答が多いが、「買い物はできるが料理が作れない」「買い物ができない」「他人を家に入れたくないとヘルパーや介護サービスを拒否」なども大きな問題である。また、「経済的な問題」というのも解決が難しい理由の一つであり、栄養を考える前に食の確保をする必要のある患者も多い。(図1)

「透析時に病院が給食を用意しているか」という質問に、94.6%のところ提供をしているという回答があった。利用率は、全体の平均利用率が39.7%、高齢者の利用率は29.2%と下がる。病院給食の利用率がな

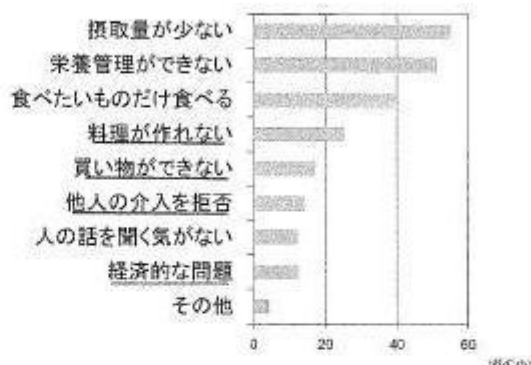


図1 困っている内容

ぜ低いのか、この質問も「特に多い理由」には3点、「多い理由」には2点、「理由として挙がってきたもの」には1点として集計を行った。利用しない理由は、「経済的なもの」というのが一番多く、病院給食費が高いと感じているようである。その他にも「家で落ち着いて食べたい」「送迎の関係で、食べる時間がない」などの理由があった。

病院給食を利用しない理由として「経済的なもの」が一番挙がっていたが、病院給食の患者支払額は、250~750円とかなりの幅があった。600円代が19施設と一番多く、次に500円代が9施設、平均は556円だった。

IV 考察1

これらのアンケートの結果と傾向より、栄養量や摂取量の問題はあるが、他人の訪問を拒み食事の準備ができない独居患者に対し、食事をどう確保するのが最重要と考える。そのような患者への対応としては、「透析時の病院給食の利用率を上げる」「宅配弁当を上手に使う」「食品紹介の際、高齢者が一人でも注文しやすいように、一歩踏み込んだ対応をする」などが考えられる。

V 考察2

非透析日の食事への対策として配食サービスを検討した。市の配食サービスが受けられる人は一番安く利用できる。民間のものでは、一番価格の安いコースの弁当を検討したが、塩分も控えてあり、透析食でなくても高齢者には十分対応できるものだった。(表1)

近くに弁当屋やコンビニ、レストランなどがあれば、宅配してもらえるか一度たずねてみるのも良いだろう。(表2)

表1 民間の配食サービス

会社・弁当名	コース名	ご飯の有無	価格(円)	エネルギー(kcal)	塩分(g)
タイヘイ	糖御前	有	600	500	
ワタミタクシヨク	まごころ御前	有	540	500	2.5以下
コープ	お弁当コース	有	540	500	3.0以下
宅配クック123	普通食	有	577	500	2.5以下
山陽ディナーサービス	ヘルシーデリシャス便	有	570	500	
ミールタイム	透析食コース	無	350前後 7800/14食	バラつきあり	2.0以下

表2 その他の配食サービス

セブンイレブン	セブンイレブンの弁当
	セブンイレブンの店頭にある弁当または日替わり弁当 安価なものもあるが、1000円以上の購入で無料配達
ほっかほっか弁当	配達由各店舗による
	配達可の店でも配達料は200円かかる 塩分調節は出来ない(マニュアル通り)
三友不動産(株)フーズセンター	玉野市にあり、玉野市、岡山市南部、直島が配達地域
美和コーポレーション	冷凍弁当 透析食を作っている
けんたくん岡山店	岡山市中心部、東部、南部、北部、赤穂市一部が配達地域
すかいらく	ガストのメニューを配達 宅配は無料

VI まとめ

食事の準備が困難な高齢透析患者の栄養をある程度確保するためには、透析時病院給食の利用率を上げることが解決手段の一つである。そのためには献立内容、価格、送迎時間の検討を行う必要がある。

宅配弁当も安くはないが、最低限の栄養を確保するという点で、透析食に固定せずに、一番価格の安く、メニューのバラエティに富んだ「普通食」を紹介することで、高齢者も続けやすくなるのではないだろうか。

宅配弁当や食品紹介の際、高齢者が注文をし易いように、もう一步踏み込んだ対応をする。業者の紹介だけでは、なかなか購入までたどり着かない方も多。名前、住所、電話番号を業者に伝えてもよいか本人に確認をとり、最初私たちが電話を一本入れて、業者から患者へ連絡をとってもらおうよう設取りをつけておけば、すぐ実行できる。

高齢、独居患者は透析患者に限らず増えている。この発表にあたり、私たち栄養士ができることを考えてみたが、今後、チーム医療ということで他部署のスタッフとも連携をとりつつ考えていきたい。

